

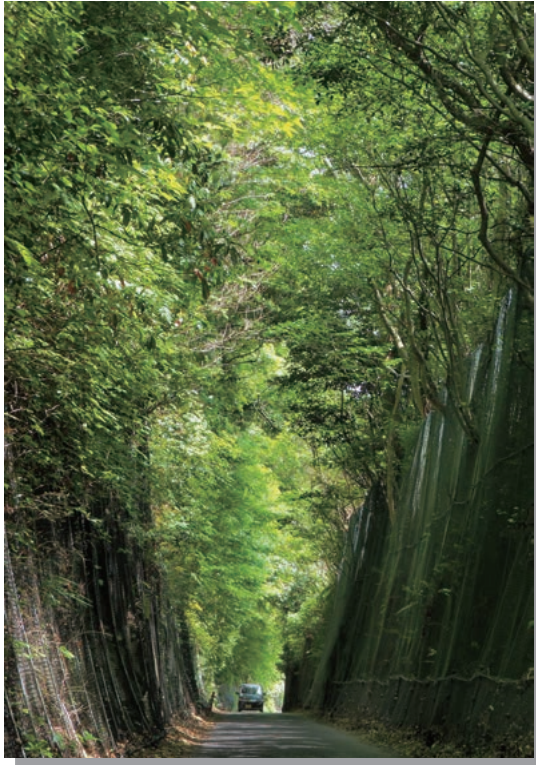
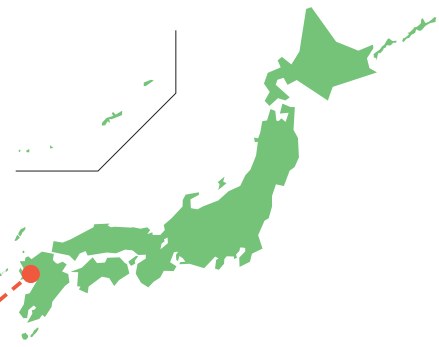
写真で見る

# 都市の変遷

## 今と昔の風景

地域の発展や変化にあわせて  
移り変わってきたまちの姿。  
今と昔を写真とともに振り返ります。

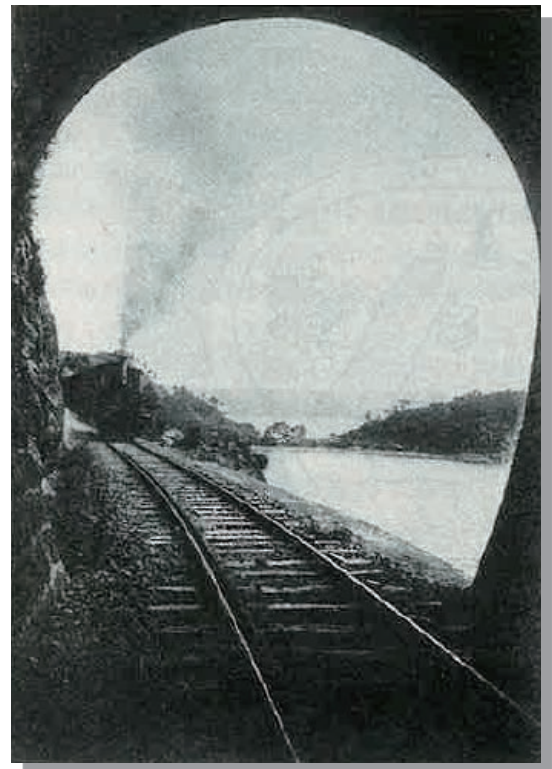
うんぜん  
雲仙市 (長崎県)



木々に囲まれた「緑のトンネル」

令和  
5年  
(2023年)

木津トンネルを走る蒸気機関車



昭和  
2年  
(1927年)



雲仙市総務部  
広報推進課  
なかむらりょうすけ  
中村亮介さん

### かつて汽笛が響いた「汽車道」

ちぢわ おばま  
千々石町から小浜町へ抜ける県道201号は、かつて小浜鉄道が走った場所で「汽車道」と呼ばれています。人力で約8kmの斜面地を切り開き、昭和2年に開通。しかし、自動車普及の波に押され、海沿いに汽笛が響いたのはわずか11年間でした。廃線後は道路となり、石造りのトンネルも車道に整備。切り開かれた山肌は木々が茂り、「緑のトンネル」へと姿を変えました。石と緑のトンネルが織りなす車窓の風景が、当時の面影を今に伝えています。